

29 サガノミジンツボ属の一種 (ミズツボ科)

Saganoia sp.

兵庫県ランク:A

環境省ランク:指定なし

種の概要

松田・石田(2011)は、兵庫県において京都府に分布するサガノミジンツボと推定される種として報告している。殻長1.32~1.79mm、殻径0.47~0.67mmの円筒形に近い塔形で、縫合は比較的深い。白色半透明な殻と色素のない軟体をもつ(松田・石田,2011)。ミジンツボの仲間は、東北から九州の地下水脈に広く分布するが、既知産地は極めて少なく散見的である。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○	○	○

県内分布

たつの市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。2002~2003年に旧:揖保郡新宮町(現:たつの市)牧の民家にある井戸から採集されたのみである。当地は揖保川水系栗栖川の支川流域にあたる。県内では、水生昆虫の研究者によって西播地方の掘り抜き井戸の生物調査が行われてきたが、ミジンツボ類は見つかっていない。

保護上の留意点

地下水脈に生息することで、具体的な生息状況が特定できないなど、詳細な実態は不明であるが、既知産地周辺においては、強度な地下水のくみ上げや、汚染水や汚染物質の地下水流入を避ける。なお、サガノミジンツボは環境省レッドリストにおいて情報不足(DD)に選定されている。



【執筆者】 増田修